Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

特定非営利活動法人手話教師センター

【名古屋会場】

ろう通訳シンポジウムのご案内（日本手話に特化した翻訳・通訳技術向上の支援事業）

1960年代以前、ろう者が通訳を担っていた時期がありました。しかし、いまでは、手話通訳は聴者がするものと思われています。ところが、世界に目を向けると、通訳資格をもつろう者（CDI）が聴の手話通訳者（フィーダー）と連携して通訳する場を広げています。わが国でも、ようやく「ろう通訳」の必要性が認識され始めていますが、大学のように体系だった養成の場はなく、公的な資格制度もありません。ろう通訳者が活躍するために必要なものはなんでしょうか。みんなで考えていきましょう。

＊音声日本語への通訳がつきます。

日時：2015年1月31日（土）13:30-16:30（受付13:00～）
会場：桑山ビル（名古屋駅前）＊地図は裏面を参照してください
会費：1,500円
＊NPO法人手話教師センター会員、サポーター、学生の方は1,000円です。法人会員証・サポーター証・学生証を提示してください。
定員：120名　＊先着順です。定員になり次第、申込受付を終了します。詳細は裏面を参照してください。

【内容】
講演 「**ろう通訳者の将来を考える**」　小野広祐
報告 「**米国におけるろう通訳事情　～CIT会議から～**」　前川和美
パネルディスカッション 「**いま、なぜろう通訳者なのか？**」
パネリスト：小野広祐・前川和美・春日幸三・相良啓子・馬場博史　（進行：木村晴美）

小野広祐

前川和美

春日幸三

相良啓子

馬場博史

【講師・パネリスト紹介】
小野広祐　学校法人明晴学園教諭（教頭）、和光大学現代人間学部 非常勤講師、NHK手話ニュースキャスター。
前川和美　関西学院大学人間福祉学部　非常勤講師。ろう通訳者・フィーダーの養成に関心がある。
春日幸三　日本ろう手話通訳派遣協会代表、ろう通訳者。ろう通訳の養成・派遣システムの構築をめざす。
相良啓子　国立民族学博物館プロジェクト研究員。米国、フィンランド、イギリスに滞在経験あり。国際会議に多数出席。
馬場博史　関西学院大学人間福祉学部　非常勤講師。ろう通訳者をめざす。

【会場案内】

桑山ビル（大会議室）　名古屋駅より徒歩3分
名古屋市中村区名駅2-45-19

JR 名古屋駅改札より桜通口方面へお越しください

【申込方法】

・FAXでお申し込みの場合
下記「申込書＆整理券」に必要事項をご記入のうえ、FAXをお送りください。（1人1枚でお願いします）

・メールでお申し込みの場合
①～⑤の事項を記載のうえ、メールをお送りください。（1人1通でお願いします）①氏名（ふりがな）　②FAX番号　③メールアドレス　④属性（一般・会員・サポーター・学生）　⑤（ろう者・聴者）

折り返し、整理番号を連絡します。当日は受付で整理番号の入った整理券を渡してください。

fax: 03-4579-0518　e-mail:　haken@jsltc.org

受付開始：2014年11月22日（土）10:00
（開始日以前の申し込みは無効です）

・会費（1,500円）は当日受付にてお支払ください。
*NPO法人手話教師センター会員、サポーター、学生の方は1,000円です。法人会員証・サポーター証・学生証を提示してください。

・キャンセルの連絡は1月22日（金）までにお願いします。1月22日を過ぎた後のキャンセルはできません。
＊1/23以降にキャンセルの連絡のあった方、無連絡・不参加の方には、会費の支払方法を別途連絡します。

【名古屋会場】ろう通訳シンポジウム　申込書 & 整理券

整理番号：

ふりがな
① 氏　名：

② fax番号：

③ e-mail：

*○をつけて下さい
④　属性：　一般　・　会員　・　サポーター　・　学生

*○をつけて下さい
⑤　あなたは？：　ろう者　・　コーダ　・　聴者　・　その他（　　）

問い合わせ先：　特定非営利活動法人手話教師センター事務局　fax: 03-4579-0518　haken@jsltc.org